

「デジタルアーカイブ戦略 2026-2030」(仮称)の策定にむけた方向性案

1. 特徴等

(1) 特徴・ねらい

- 我が国のデジタルアーカイブ推進として目指す方向性を打ち出すとともに、今後5年間(2026年～2030年)のプライオリティ等を明示する。
- 今後5年間は、我が国のデジタルアーカイブ推進(保存・活用)の体制・仕組みを整え、国・自治体・民間も含め、ジャパンサーチを基軸としながら、我が国全体でデジタルアーカイブ推進に向けた取組が活性化していく基盤づくりを目指す期間とする。

(2) 現在の戦略方針・アクションプランとの関係

- 現在の戦略方針及びアクションプランは、「ジャパンサーチ戦略方針 2021-2025」「ジャパンサーチ・アクションプラン 2021-2025」であるが、新戦略では、「ジャパンサーチ」に留まらず、2026年度以降の我が国全体のデジタルアーカイブ推進の方向性を示した上で、その実現におけるジャパンサーチの役割・アクションを特定する。

2. 構成等

戦略方針及び到達目標、の2部構成とする。

【はじめに】(これまでの経緯)

【第1部】(戦略方針)

(1) デジタルアーカイブ推進の方向性

- ミッション・価値

(2) 推進体制

(2-1) 国・地方公共団体・民間の役割

- 司令塔として、「デジタルアーカイブ戦略懇談会」及び「デジタルアーカイブ推進に関する検討会」を位置づけるとともに、中核的な実施主体として、国関係のアーカイブ機関と、ジャパンサーチを位置づける
- 国の役割：実施主体として、国関係アーカイブ機関がデジタルアーカイブ推進の中核を担う(「つなぎ役」(※名称要検討)としての役割を含む)ことを示すとともに、国関係の各アーカイブ機関の取組の方向性を記載
 - * あわせて、各アーカイブ機関による「収集の方法」に関し、以下の課題も検討
 - ボーンデジタルを含むコンテンツ推進の在り方
 - 放送番組等、動画を含むアーカイブの推進の在り方
- 地方公共団体の役割：地方公共団体においては、各地域資源について、アーカイブ推進の中核的な役割を担う
 - * ジャパンサーチが連携する地域は、全都道府県域に広げることを目指す
- 民間の役割：各理念に基づき、特徴あるアーカイブ活動を推進

(2-2)アーカイブ支援体制の在り方

- ジャパンサーチによる支援
 - ＊ 相談窓口、各種ガイドライン、ジャパンサーチによる連携拡大 等
 - 国等による支援
 - ＊ 効果的な実践事例のショーケース化
(例)デジタルアーカイブフェス
 - ＊ 各省庁による支援メニューを可視化し、記載
(例)メディア芸術ナショナルセンター(仮称)拠点整備に向けた機能強化
 - ＊ 円滑な権利処理に向けた支援
(例)令和 5 年著作権法改正による新たな裁定制度(簡素で一元的な権利処理)の周知及び利用促進
(※前提として、個人クリエイター等の権利情報登録システムの整備を含む、分野横断権利情報検索システムの構築等)
- 〔関連論点〕権利処理に係る問題発生の場合の対応支援の在り方(専門人材の育成・確保、相談体制の在り方)

(3)5年間の優先事項

(3-1)推進分野

- 文化資産・学術資料等(コンテンツ)が対象
- ただし、テーマとして、メディア芸術や、地域資源(防災・観光等)も重視

(3-2)コンテンツのデジタル化と利活用の推進

- 保有コンテンツのデジタル化を進める
- 利活用の推進に向けて、権利情報の付与、コンテンツのWeb 公開及び二次利用条件の整備を進める

(3-3)ジャパンサーチの役割・アクション

- デジタルアーカイブの構築、連携、活用促進等においてジャパンサーチが果たすべき役割・アクションを特定
 - ＊ 分野・地域アーカイブとの連携拡大、「つなぎ役」・「拡げ役」(※名称要検討)への支援、相談窓口、連携コンテンツの拡大、意識啓発(優良事例の周知・共有等)、オープン化推進(※この観点から、専ら商用目的ではないコンテンツとの連携を優先)等

【第2部】(到達目標)

中長期の到達目標につき、2024 年 6 月に公表したものをアップデートしたものを掲載

(1)国関係のアーカイブ機関

- メタデータ整備
- 保有コンテンツの2D デジタル化・3D デジタル化
- デジタルコンテンツの保存のあり方

- メタデータのオープン化
- サムネイルの作成
- コンテンツの web 公開
- コンテンツ等の二次利用条件整備(未整備解消)
- 海外への情報発信(多言語化含む)
- 人材育成・意識啓発

(2) ジャパンサーチ

- 連携メタデータ数の拡大
- 分野・地域アーカイブとの連携拡大
- コレクションポリシーの策定
- 相談窓口の創設と運用
- つなぎ役・拡げ役の支援策実施
- コンテンツ情報の見える化
- 意識啓発
- アクセス数の増加

(以上)